【小学生高学年礼拝コンテンツ】

10月②　精誠

■起｜精誠とは？

「精誠」という言葉は、あまり聞きなれない言葉ですね。神様仏様に祈願することを目的にご飯を食べない断食、冷たい水をかぶる水行、徹夜祈祷などのように、何かとても難しい修行のようなイメージがあるかも知れません。

教会（家庭連合）ではよく使う言葉であり、真の父母様を象徴するような言葉でもあるのでとても重要です。

小学生の皆さんにも、是非、この機会に「精誠」とは何かを知って、精誠を捧げられるようになってもらえたらと思います^^

■承｜精誠は「愛」である

「精誠」という言葉を辞書で調べると、“まじりけのないまごころ。純粋な誠実さ。”とあります。

ある時、真のお父様が、精誠とは何か教えてくださったことがあります。

お父様があるお弟子さんに「精誠とは何だと思うか？」と質問をされたそうです。そのお弟子さんはとても信仰深く、信仰生活を基準高く行っていた人だったので、「精誠とは、訓読や祈祷などの神様を中心とする生活をお捧げすることです」と答えました。

　すると、お父様は「違う」と答えられたのです。「精誠とは、愛することだよ」と教えてくださったそうです。

　例えば、あるお母さんが毎日神社でお参りをしていたとします。なぜ毎日神社に来てお参りするのでしょうか？

　行動（うわべ）だけを見ると、たまたま毎日の散歩コースに神社があるからお参りをしているのかもしれません。または、どうしても叶えたい願いがあって、「お百度参り」をしているのかもしれません。もしかしたら、子供が重い病気で、その病気が治るように「お百度参り」しているのかもしれません。

　これらの違いは何でしょうか？それは愛です。最後の話のように、子供への愛のために続ける行動は、まさに精誠だと言えます。

ここで精誠について質問をします。皆さんはどれが精誠だと思いますか？

1. （面倒臭いけど）飼っているペット（犬）に餌をあげたり、散歩を毎日してあげる。
2. 弟・妹のために、自分のお菓子を分けて一緒に食べる。
3. お父さん・お母さんを笑顔にするためにお手伝いをする。

すべて精誠だと言えると思います。

お父様のみ言にあるように、精誠を捧げることを、愛することと言い換えてみると分かりやすいですね。

神様のために精誠を捧げることは、神様を愛することです。

友だちや学校のために精誠を捧げることは、友だちや学校を愛することです。

スポーツで精誠を捧げることは、そのスポーツを愛することです。

勉強で精誠を捧げることは、勉強を愛することです。

自分の生活で精誠を捧げることは、日々の時間を愛し、貴重に思いながら過ごすことだと言えるでしょう。

■転｜相対的な価値。誰のため、何のために捧げるか？が重要

ここで真のお父様が語られた「精誠」に関するみ言を紹介します。

**自分を中心としたものになれば、精誠は成し遂げられません。精誠は、自分を中心として尽くすべきものではなく、相対、すなわち、家庭なら家庭、社会なら社会、国家なら国家など、より大きな相対のために尽くしてこそ、「精誠」という名詞が成立するのです。自分を中心として精誠を尽くしたものは、自分１代においては残り得るかもしれませんが、それは、自分１代と共に流れていってしまうのです。**

**精誠の基台は、相対のためのものだけが残ることができます。その相対の大きさによって、精誠を尽くした実績や、結べる因縁の大きさが決定されます。ですから、皆さんは自分を中心とするところではなく、必ず相対のために生きるところにおいて精誠の要件が成立し、「精誠」という名詞が成立するということを、肝に銘じなければなりません。**

（『至誠感天・家和万事成』20ページ、１９６７．１．２９）

世の中には色んな精誠、愛がある訳ですが、

より大きな目的のために捧げた精誠が、一番成し遂げられるし、神様や霊界も助けてくれるでしょう。

そして、自分だけでなく、自分の子供、孫と何代も残っていくような精誠を目指していく必要がありそうです。

だからこそ、真の父母様ご自身が、神様の夢である、人類が天の父母様を中心として一つの家族になること、憎みあっている人が愛し合い、戦争している国や宗教が仲良くするという真の愛の目的のために人生を捧げてこられてきたのであり、私たちのお父さん・お母さん、教会の先輩たちも、私たち二世・三世も、真の父母様の夢を自らの夢として、一生懸命頑張っているのです。２３

逆にあまりにも大きなことでもあるので、信仰を持っていないお友達、一般の人たちには理解が難しいし、一部の人たちは真の父母様や教会（家庭連合）が行っていることを否定することがあるかも知れません。

ただ、そういう人たちをも受け止め、愛し、許してこられたのが真の父母様なのです。

私たちも真の父母様のように、より大きな精誠を捧げ、大きな夢を果たすことができる子女となって、迫害する人たちも正しく理解できるように、そして幸せになれるように祈ってあげましょう。

■結｜小学生の精誠とは？

今回は「精誠」という内容について学んできました。

真の父母様、お父さん・お母さん、そして私たちが何代にもわたって、成し遂げていきたい「精誠」という内容が分かったでしょうか？小学生の皆さんにとっては、いきなり世界のため、人類のために努力・実践するのは難しいですね。

将来、大きなものにチャレンジするためにも、身近に実践できることから始めてみましょう！まず、お父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃん、兄弟姉妹に関心を持って、どうしたら喜び、笑顔になるだろうか？自分がどんな行動をしたら喜ぶか、考えてみましょう。そして、今週一つでも二つでも実践してみましょう(^^)/

★自叙伝やみ言を通して勉強したり、お祈りして聞いてみましょう

★何のため、誰のために頑張っているのか？質問したり、話を聞いてみましょう！！

★自分の実践を始めましょう